

TOYOPUC*¹ FL リモート

TOYOPUC FL Remote

本製品は、FL-net 系のリモート I/O で、当社 PC10G-CPU (図1) および 2PORT-EFR (図2) をマスタ局にして、最大で 63 台のスレーブ局 (当社 FRMT シリーズ (図3)) を接続することができる。通信速度は、100Mbps と高速で、スイッチング HUB (当社 FE-SWH シリーズ (図4)) を使用するため、通信線の総延長距離も 2km と長い。また、スレーブ局に関しては、他メーカーにおいても FL リモート対応のモジュールを開発中で、接続可能な機器のバリエーションを拡大中である。



図1 PC10G-CPU



図2 2PORT-EFR



図3 FRMT シリーズ



図4 FE-SWH シリーズ

開発の狙い

設備のネットワークとして、一般に情報系はイーサネット*²、制御系は FL-net、リモート I/O は DeviceNet が使用されているが、リモート I/O を FL-net 系に変えることにより、設備のネットワーク配線種類を 1 本化することができる。また、スイッチング HUB による分岐配線により、ケーブルの短絡・断線のときでも、その接続局のみが異常となり、容易に原因の特定ができる。

特長

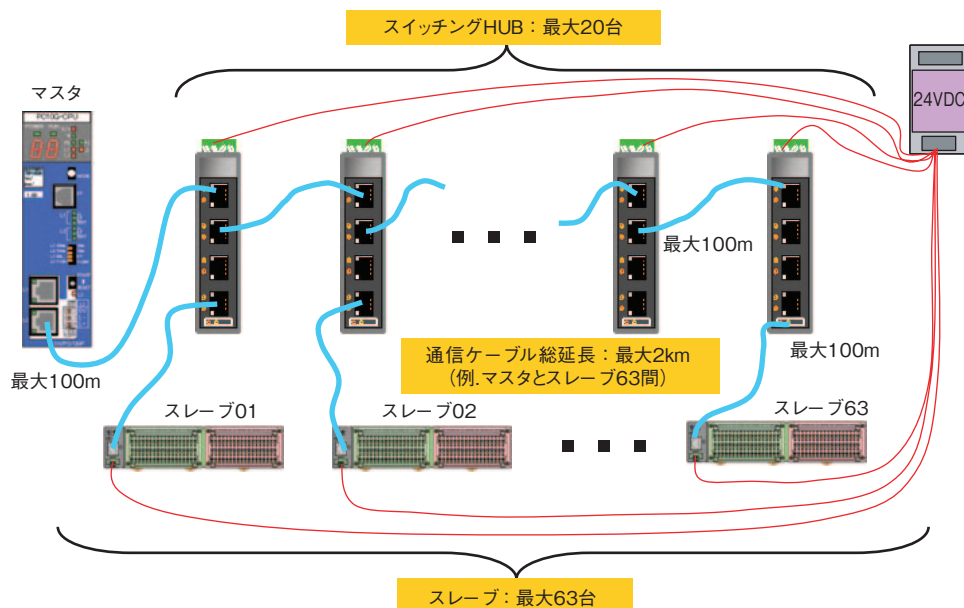
- 1) 高速通信 (100Mbps)
- 2) 長距離通信 (総延長 2km)
- 3) 診断機能付きスレーブ (FRMT シリーズ)
 - ①短絡検知機能
 - ②断線検知機能
 - ③ I/O 電源電圧モニタ機能

概略仕様

項目	仕様
通信速度	10Mbps, 100Mbps
通信距離	ノード* - HUB 間: 最大 100m HUB - HUB 間: 最大 100m ノード-ノード間 (1対1接続時): 最大 100m 総延長距離: 最大 2km
最大接続ノード数	64 台 (マスタ 1 台 スレーブ 63 台)
ノード アドレス	マスタ: 00, スレーブ: 01 ~ 63
I/O 点数	最大 (入力 64 点 + 出力 64 点) / スレーブ × 63 スレーブ = 最大 (入力 4 032 点 + 出力 4 032 点)
I/O の割付	最小 8 点単位

*ノード: マスタ, スレーブを表す

機器接続例



- * 1 TOYOPUC は(株)ジェイテクトの登録商標です.
- * 2 イーサネットは富士ゼロックス株式会社の登録商標です.

(工作機械・メカトロ事業本部 メカトロ制御技術部)

株式会社ジェイテクト